

2025年度 メリー★ポピンズ 豊洲ルーム 事業計画書

I. 基本方針

園目標・・・【真に子どもの『生きる力』を育む大きな家】

子育てにおいては2つの未来が重要であると考える。

新しい未来（デジタル・テクノロジーの進化・SNS・AI・宇宙・ビジネス・・・）と
懐かしい未来（ヒトらしい暮らし・生活・遊び・自然・共同養育・地域・・・）。

新しい未来を学びながら、懐かしい未来を迎えていく（園では保障していく）ことが保育者の責務である。その責務を果たす為にも、スタッフは個々での学び、チームでの学びを続け、自らの「生きる力」を身につける。そして、その学びを通して保育実践を積み重ね、子どもが自ら「生きる力」を育んでいける体験・経験の場を提供する。

「生きる力」を育む体験・経験の場、子どもの暮らしという面では懐かしい未来が重要であり、どろんこ会グループが大切にしている基本活動を確実に丁寧に行なうことが懐かしい未来を迎えることにつながる。

その為にも、スタッフはどろんこ会グループの基本活動“ホンモノの体験と労働”にこだわり、一日一日を大切にしながら、子どもに必要な体験・経験の場を提供し、背中を見せて労働を教えていく。

子どもも大人も互いに学び合い育ち合う保育園を目指す。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	生きるための基礎を育む (寝て、起きて、食べて、動く=歩く・探索・遊ぶ・労働・つながる)
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した生活リズムの確立（園・家庭） ・個別に配慮した保育 ・日課・基本活動の実施 ・長距離散歩 ・自然探索 ・スタッフ一人ひとりが必要だと考えた年間行事
2	計画・ねらい	免疫を獲得する物的環境・活動の計画と実行をする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩9時出発 ・長距離散歩 ・畑仕事 ・プランター菜園 ・自然探索
3	計画・ねらい	労働（雑巾がけ・畑仕事・生き物の世話・堆肥作り）以外の時間は自然や街の中を練り歩く
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩9時出発 ・長距離散歩 ・自然探索

		・地域資源の有効活用
4	計画・ねらい	挑戦的な遊びとリスクの中で、子ども自身がリスク判断ができるような経験を保障する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成 ・子どもの活動・行動（学び）のプロセスを大事にする ・自然探索 ・移動保育（園庭遊び） ・焚火保育

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者の立場に立つ
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常に相手の気持ちに寄り添い、最高に幸せと思っていただけるように接する ・誰が見ても気持ちのよい清掃と整理整頓を心がける ・コンピテンシーチェック実施 ・外国にルーツをもつ家庭への支援
2	計画・ねらい	保護者が穏やかで安定して精神的に健康な状態で子育てができるように支援する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的ではないコミュニケーション（聴く・寄り添う・思いやる・共に考える・提案・尊重） ・個別に配慮した保育 ・保護者自身の悩みや苦労に寄り添う ・保護者目線の子育てサービスの提供 ・保護者が活躍できる場の創出
3	計画・ねらい	保護者が園や社会から支えられ、安心感をもって、子どもの成長の喜びを感じられるようにする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3分間お迎え対応 ・タイムライン ・保育の見える化

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域の人たちが集う地域に開かれた拠点となる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン ・青空保育 ・園開放 ・どろんこ祭り
2	計画・ねらい	ビジター利用の子どもに対する配慮の行き届いた柔軟な保育を展開する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジター利用児の柔軟な受け入れ ・保護者との連携 ・家庭での生活や生活のリズムへの配慮 ・子どもの心身の状態への配慮 ・スタッフ間での子どもの姿の共有

3	計画・ねらい	保育所保育の専門性を活かした子育て支援を行う
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン ・青空保育 ・育児講座・育児相談 ・保育所体験 ・出産を迎える親の体験学習

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	子どもを深く丁寧に観察し理解する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の作成 ・記録を基にした保育者同士のディスカッション ・子ども理解 ・保育の自己評価
2	計画・ねらい	「対話」を通じて、園全体で保育を振り返る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修 ・相手を否定しない ・保育記録の共有 ・スタッフによるファシリテーション
3	計画・ねらい	チームで「協働」して課題解決をする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組織のミッションやビジョン、目標の共有 ・ミドルリーダーの育成 ・スタッフの役割・責任を明確にする ・スタッフの主体性や多様性の尊重

〈5〉 環境実施目標

1	計画・ねらい	大人と子どもが一緒に畠仕事をし、料理したり、加工したりする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食育活動 ・苗植え→水やり→収穫→料理→食べる ・クッキング ・食材の加工（梅・味噌・たくあん・ケチャップ・あんこ・ジャム）
2	計画・ねらい	子どもが自然を自分自身とつながりのある存在として捉えられるような時間を大切にする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩時の子どもの発見を大切にする ・自然探索 ・畠仕事 ・泥遊び
3	計画・ねらい	身近な自然物に触れ、親しむ。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにはどんな自然物（木・花・実）があるのかを子どもたちと会話する ・いろいろな種類の自然物を集めて、色や香り、手触り等の違いを楽しむ ・散歩で拾ってきた自然物を子どもたちが手に取って使えるように室内に配置する

〈6〉保育環境（物的・人的）の質向上

1	計画・ねらい	10より100の探索ができる環境を構成する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が活動・玩具・教材・絵本・運動遊具を選び取れるようする ・自然探索 ・地域資源の有効活用
2	計画・ねらい	子ども間でのぶつかり合いや葛藤を調整しなければならない機会が得られるようにする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・物の数・置き場所を構成する ・必要な場面で必要な量のみの言葉かけ・介入
3	計画・ねらい	子どもの声を聴く
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを人として尊重する ・主体性の尊重 ・対話 ・この子はいま何をしてほしいのか、何を求めているのかを常に観察し、感じ取る ・子どもの思い「あなたはどうしたい？」「あなたはどう感じている？」「あなたはどうしたい？」を聞き入る
4	計画・ねらい	子どもにとって安心・安全な保育者になる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成 ・子どもの欲求を的確に満たした応答的なかかわり ・子どもの気持ちを受容した共感的なかかわり ・集団全体への配慮

〈7〉スタッフの資質向上

1. 基本方針 〈4〉に記載事項も大切に取り組んでいく

1	計画・ねらい	「主体的」に学び、行動する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成 ・自己研鑽 ・園内研修実施 ・外部研修受講 ・個人面談・フィードバック面談
2	計画・ねらい	ミドルリーダーとして必要なマネジメントとリーダーシップに関する能力を身に付けていけるようにする。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修 ・キャリアアップ研修受講 ・園長大学®・保育士大学の受講 ・目標管理 ・フィードバック面談
3	計画・ねらい	自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たせるようにする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の内容等に関する自己評価

		<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修 ・知識及び技術の修得 ・記録の作成 ・子ども理解
4	計画・ねらい	常に子どもの視点に立って自己評価を行い、保育の質の向上を図る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の作成 ・記録を基にした保育者同士のディスカッション ・子ども理解 ・保育の自己評価 ・子どもがいま何に興味・関心をもち、何を学ぼうとしているのかを常に理解しようとする ・この子はいま何をしてほしいのか、何を求めているのかを常に観察し、感じ取る

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
7人	12人	11人	2人	1人	1人	34人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	10人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	0人	補助	0人	調理	0人	事務	0人
	用務	0人						

3. 運営方針

〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	園運営・保育内容の振り返り、園内研修
給食運営会議	月1回	食育活動・子どもの発達・食事の様子
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿の分析
ケース会議	月1回	個別支援計画を基に、対象児への支援を深める

〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	どろんこ会グループ統一の事案の共有と意見交換
施設長勉強会	月1回	施設長のスキルアップを目的とした内容
食育会議	年4回	どろんこ会グループ全体での給食・食育業務改善を目指す内容
保健会議	年4回	どろんこ会グループ全体での園児健康管理業務改善を目指す内容
子育ての質を上げる会議	月1回	スタッフのスキルアップ・保育内容の質向上を目的とした内容

〈3〉 各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	衛生点検、保育室の環境整備
安全対策係	設備・事故防止点検、保育室の安全管理
防火管理者	避難訓練の計画・実施、自主点検
食品衛生責任者	衛生点検、調理室及び食品の管理
畠係	畠状況の管理、道具類の維持補充、畠活動の把握・計画・共有
生き物係	生き物の世話、飼育計画

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	どろんこ祭りの計画・実施
ちきんえっぐ係	ちきんえっぐ（地域子育て支援）の内容企画立案など

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な行動や欲求に適切に応え、特定の大人との情緒的な絆を形成する ・保育者に見守られ、探索活動を楽しみながら、様々な感覚を育む
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な大人との安定した関係の下、ひとり遊びを十分に楽しみながら、自我が芽生える ・活動範囲が広がり、様々なものとふれあうことで、五感を通して興味・探求心を育む
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身に付け、喜びながら意欲的に生活する ・友達との関わりを広げ、集団で行動する事を楽しむ
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢で生活をする中で思いやりの心、協力し合う心を養うと共に達成感を味わう ・自分の思いを十分に表現し、相手の思いも受け入れながら、生活や遊びを築いていく
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

どろんこ会の3大食育方針 (1) 調理員・保育士・施設長は子どもと一緒に食べる (2) 噛む力を育て素材の味を味わえる状態で提供する (3) 子どもが自分たちで盛付・配膳して食べるを基本とする。

1	計画・ねらい	子どもの意見や気持ち・思いを丁寧に聞き取り、それが尊重され、発達をふまえた適切な対応ができるようにする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> すべてのスタッフが子どもと一緒に食べる 口腔発達の理解 子ども理解 個々の発達や欲求に応じた食事の提供 (形態・食具の選択・介助の方法)
2	計画・ねらい	0歳児～保育者まで、集団で一緒に食べることで、食べる意欲や食べる方法など、食の営みを築いていけるようにする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> バイキング すべてのスタッフが子どもと一緒に食べる 見て真似る(学ぶ)ことができる環境構築 食を通した豊かな言葉かけ・コミュニケーション
3	計画・ねらい	楽しい食事を通して、健康な心と体を育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> バイキング すべての人(園児・スタッフ)で一緒に食卓を囲む 季節や行事にあった食事の提供 五感を通した食材・食とのふれあい 個々の発達や欲求に応じた食事の提供 (形態・食具の選択・介助の方法) 食材の加工

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回(6月・11月)
歯科検診	実施なし
保健だより	月1回(25日)発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回(5日)
園児への保健指導・取組等	日々の手洗い、うがい、歯磨き、水分補給、衣服の調整
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 4～9月頃…手足口病・ヘルパンギーナ 6～10月頃…マイコプラズマ肺炎 7～10月頃…咽頭結膜炎・流行性結膜炎 11～5月頃…水痘・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

	11～3月頃…インフルエンザ・感染性胃腸炎 1～6月頃…伝染性紅斑 3～4月頃…麻疹・風疹 1年を通して…突発性発疹・流行性耳下腺炎など
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ…預かり可能／冷暗所にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在10名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員については3月19日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間

利用者アンケート調査	年1回
------------	-----

〈6〉環境整備

1. 基本方針 〈6〉に記載事項も大切に取り組んでいく

1	計画・ねらい	子どもの主体性を保障するために保育者の主体性と連携を強化する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対する願いと責任をもって保育をする ・日々の保育の計画と振り返り ・保育記録 ・園全体での保育の振り返り ・すべての子どもをすべてのスタッフで見守る
2	計画・ねらい	様々なことやものに关心や好奇心を広げていけるような環境を構築する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって豊かな環境や文化、社会に会えるようにする ・子どもの発見や出会いを大切にした散歩 ・発達の理解 ・子どもを肯定的に捉える ・共感的なかかわり ・子ども理解 ・全スタッフによる定期的な環境の見直し・構築 ・地域資源の有効活用
3	計画・ねらい	子どもたちの興味・関心、学びに沿った環境を構築する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいま何に興味・関心をもち、何を学ぼうとしているのかを常に理解しようとする ・発達の理解 ・子どもを肯定的に捉える ・共感的なかかわり ・子ども理解 ・全スタッフによる定期的な環境の見直し・構築
4	計画・ねらい	挑戦的な遊びとリスクの中で、子ども自身がリスク判断ができるような経験を保障する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成 ・子どもの活動・行動（学び）のプロセスを大事にする ・自然探索 ・移動保育（園庭遊び） ・焚火保育

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具の設置なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	避難訓練（地震・火災）月1回15日
2	実践予定内容	不審者侵入訓練 6月・12月
3	実践予定内容	事故防止チェックリスト 4月・7月・10月・1月
4	実践予定内容	設備点検チェックリスト 4月・7月・10月・1月
5	実践予定内容	誤飲・誤嚥防止チェックリスト 4月・7月・10月・1月
6	実践予定内容	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿の記入、閲覧、分析、再発防止
7	実践予定内容	午睡時の生存確認 毎日
8	実践予定内容	光化学スモッグ注意報発令情報確認 発令時
9	実践予定内容	室内・公園・散歩ルートのハザードマップ作成 4月 見直し 7月・10月・1月
10	実践予定内容	施設長の散歩同行・OJT

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉 今年度方針・テーマ

- ・次世代育成の観点から、積極的に受け入れを行い、実習生や生徒の1人ひとりの様子に合わせて具体的かつ家庭的に援助・指導を行う。また、未来の親として、「子ども(乳児)」を知ってもらうとともに、子どもの愛おしさや力強さを感じてもらう。
- ・温かい雰囲気と丁寧な受け答えや指導を心掛け、まずは「保育って楽しい」といった、机上の学びとは異なる魅力を感じてもらえるように努める。
- ・社会で働く者としてのマナーや専門職としての責務を見本となって伝えていく。

1	実践予定内容	中高生の体験学習受入
2	実践予定内容	保育養成学校の学生の実習受入
3	実践予定内容	ボランティアの受入

7. スタッフ育成と研修計画

- ・園長大学®・保育士大学から自園の課題改善や保育の質向上に沿った適切な講座を選び、全スタッフで学びを深めていく。
- ・研修テーマごとに担当スタッフを選出し、担当スタッフが中心となり、全スタッフとの対話を通じて講義内容を深堀していく。
- ・スタッフ一人ひとりが、必要だと感じること・学びを深めたいこと・同僚に伝えたいことを持ち寄り、主体的に研修を実施できるようにする。
- ・対話を通じて園全体で保育を振り返り、同じ方向を向いて、より良い保育（保育の質向上）に取り組んでいけるようにする。

〈1〉2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月18日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ケガ・ケーススタディ研修 ③ 虐待防止研修/人権チェック	・子どもたちの安心・安全を保障するためケガ・ケーススタディを実施する ・品質マニュアル「保育士による虐待の定義」を用いて保育を振り返る ・人権チェック実施後にグループワーク等を用いて、虐待について深く振り返る
5月16日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 信じて待つ保育	見守ると放任の違い、「子どもを信じて、待つ」保育を理解する
6月20日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 口腔機能の育み方	口腔機能の育み方を学ぶ
7月18日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 心を育てる保育環境	子ども一人ひとりが心地よく居られる保育環境の在り方を考える
8月15日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育と自然～散歩～	自然にふれる意味、散歩で取り組むべきことを考える
9月19日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育と自然～畠～	自然のつながり、自然とのつながりを考える
10月17日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 虐待防止研修・人権チェック ③ 子育て支援	・品質マニュアル「保育士による虐待の定義」を用いて保育を振り返る ・人権チェック実施後にグループワーク等を用いて、虐待について深く振り返る
11月14日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 乳幼児期に大切に育みたい力	保育現場で子どもに育むべき力・子どもの望ましい未来について考える
12月19日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② インクルーシブ保育	インクルーシブな教育・保育について考える
1月16日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育者の言葉かけ	子どもの心の育ちについて学びながら、保育者の言葉かけを考える
2月20日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議	今年度の振り返り 次年度の保育計画立案
3月20日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点	次年度へ向けての共通理解・チーム

② キックオフミーティング 作り

〈2〉 外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学® 保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学® 保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デンマークインターナシップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉 スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉 今年度方針・テーマ

- ・子どもの地域の中での直接的な体験を広げていけるように、地域資源を有効活用していく。
- ・子育てサロンや地域交流行事の広報・集客に力を入れ、1つでも多くの家庭に園に足を運んでいただき、1つでも多くの家庭に直接的な支援ができるようにしていく。
- ・園見学対応の際に子育て講座や子育て相談、保育所体験、出産を迎える親の体験学習を積極的に提案し、待つのではなく、保育園側から直接的な支援を実行していく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：50名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：シバウラキッズパークにて 集客目標：5名
商店街ツアーア	週1回
世代間交流	古石場高齢者在宅サービスセンター
異年齢交流	豊洲北小学校 深川第五中学校 都立第三商業高等学校 東京海洋大学
地域拠点活動	子育てサロン 地域交流行事 子育て講座・子育て相談 保育所体験・出産を迎える親の体験学習
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

- ・5歳児在籍が初となるため、小学校と積極的にやり取りを行い連携や活動を確立していく。
- また、今後のことを見通して、確立した内容を全スタッフに共有し、次年度以降も小学校とスムーズにやり取りができるようにする。
- ・江東区連携教育の日に出席し、「江東区保幼小連携プログラム」を基に、子どもたちの教育の円滑な連携・接続を考えていく。
- ・保育園における遊びや生活の中での子どもの育ちが連続性をもって小学校での発達や学びに繋がっていくようにする。そのために、子どもの発達を長期的な視点で捉え、保育所保育の内容と小学校教育の内容、互いの指導方法の違いや共通点について理解を深めていく。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月21日（水）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
9月頃	豊洲北小学校 1年1組	1名予定	小学校見学（豊洲北小校内）	子ども間交流
1月頃	豊洲北小学校	1名予定	園庭遊び（豊洲北小	子ども間交流

	1年1組		校庭)	
7月頃	豊洲北小学校 1年1組	2名予定	授業参観（豊洲北小 教室）	職員間交流

I 0. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

対象児童在園時において、家庭での様子や保護者の願いを取り入れながら計画を作成する。
また、スタッフ間での情報共有を密にし、必要に応じて、その都度見直しを行う。

〈2〉毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：10名予定）
個別支援計画を基に、対象児への支援を深める。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

- ・進級時の引継に関しては、個別記録を基に、子どもの姿を共有する。
- ・小学校への引継に関しては、児童保育要録や必要事項をまとめて、連携を図る。

I 1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細	
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30	集客目標：20名
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30	集客目標：10名
子育てサロン	毎月第3土曜日	10:00～11:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行	

I 2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2025年9月20日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：13時30分

自己評価終了予定時刻：14時30分

自己評価実施予定者：施設長、0歳児担当、1歳児担当、2345歳児担当

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

Ⅰ 3.3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	【園に携わるすべての人が『幸せ』を感じられる園】 <ul style="list-style-type: none">・チーム保育の追求・チームでの計画、実践、振り返り・保護者的心に入り込む接遇・清掃・整理整頓が行き届き、美観の保たれた気持ちのよい施設・全スタッフによる気持ちのよい見学・入会対応
	振り返り	<p>2024年度は『幸せ』をキーワードに園運営・保育を行ってきた。子どもたちの幸せ・最善を探り追求すること、保護者や保育者が幸せを感じながら子育てを行えるようにすること。</p> <p>この子にとっての幸せとは何か？一緒に子育てを行うこの保護者にとっての幸せとは何か？一緒に働くこのスタッフにとっての幸せとは何か？そういったことをスタッフ1人ひとりが常に考えながら過ごした1年であった。</p> <p>スタッフ1人ひとりが自らの保育を振り返ることはもちろんあるが、記録を持ち寄りチームで対話を通して子ども理解に努めることで、より多面的な角度から子ども1人ひとりの幸せにアプローチできたのではないかと思う。</p> <p>また、保護者に対しては重点施策もそうだが、日々のお迎え対応でのコミュニケーションや保護者参加行事を通して幸せを感じていただくことができたのではないかと感じている。運営委員会や利用者アンケート等でいただいたコメントを通してもそのように感じている。</p> <p>しかし、園目標に掲げて『すべての人』が幸せを感じられたかどうかはわからない。すべての人に幸せを感じていただくには1人ひとりを深く理解すること、理解しようと努めることが重要であるため、次年度以降も引き続き取り組んでいく。</p>

〈2〉 当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	<p>【真に子どもの『生きる力』を育む大きな家】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の都合で子どもを通わせる園ではなく、子どもに1つでも多くの体験をしてほしいから・「生きる力」を育んでほしいから、子どもを通わせたくなる園となる。 その為にも、スタッフは個々での学び、チームでの学びを続け、自らの「生きる力」を身につける。そして、その学びを通した保育実践を積み重ね、子どもが自ら「生きる力」を育んでいける体験・経験の場を提供する。また、その保育内容を外部に自らの言葉で発信していく。 ・子どもも大人も互いに学び合う・育ち合う保育園を目指す。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学び続けるチームづくり ・スタッフの資質向上 ・協働での課題解決・問題解決 ・子どもの最善の追求 ・子どもを深く丁寧に観察し理解する ・保育環境（物的・人的）の質向上 ・全スタッフによる気持ちのよい見学・入会対応 ・外部発信内容の強化（ブログ・講座・記録） ・年間を通して入所率100%
2026年度	目指す姿	<p>【社会の変化に応じて新しい時代を生きていくために必要な力を育んでいくことができる園】</p> <p>社会の変化を敏感に察知し、その社会の中で「人間らしく生きる力はどういう力か」、「人間らしさとはなにか」、「人間として大切にしたいことはなにか」をスタッフ一人ひとりが考えながら、実際にそれらを身につけながら、子どもたちの中にも育んでいけるようにする。</p> <p>その為にもチームでしっかりと話し合い、それぞれの思いを共有し、すべてのスタッフが同じ方向を向いて保育に取り組んでいけるようにする。そして、その保育・子育てに保護者や地域を巻き込み、子どもたちのより良い育ちを保障していく。</p>
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚性の向上 ・学び続けるチームづくり ・スタッフの資質向上 ・リーダーや管理職の輩出 ・子どもの生活を考える ・子育て支援 ・地域子育て支援拠点事業の強化 ・地域資源の有効活用
2027年度	目指す姿	<p>【子どもに必要な『暮らし（生活・遊び・労働・自然・つながり）』がある園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2027年度が迎えた社会を捉えながら、今一度、子どもに必要な暮らしと向き合い、体現していく。 ・2025年度から積み上げてきた暮らし（保育）を振り返り、その暮らしの中での子どもの姿を捉え、更なる質向上を目指す。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚性の向上 ・学び続けるチームづくり

		<ul style="list-style-type: none">・スタッフの資質向上・リーダーや管理職の輩出・子どもの暮らしを考える・暮らし（生活・遊び・労働・自然・つながり）の場の提供・子育てについて語り合う・子育て支援・地域子育て支援拠点事業の強化・地域資源の有効活用
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリーハーパーリング 豊洲ルーム 施設長 石原 幸太